※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００６

令和５年度　工業科

教科	ガイダンス	科目	キャリアガイダンス	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	独自教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学・グループワーク・校外学習・講演への参加を通して、キャリア発達を意識するよう取り組み、今後の学習における専門性や将来の進路を踏まえつつ自分を見つめて、協働して学習を進めるなかで問題解決の能力をつけるように学んでいく。

2　学習の到達目標

職業観（キャリア）の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　キャリアガイダンスの過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，キャリア形成の意義や価値を理解するようにする。

(2)　自己のキャリアプランに沿って、その実現に向けた課題を自分で立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ、主体的な系専科の選択ができるようにする。

(3)　キャリアガイダンスに主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	系専科の選択ができるように説明を聞いて学習内容を理解する。 希望する進路に関わる情報を集める。 課題解決の手法を理解する。	各専門分野の学習内容をもとに自分の希望を絞る。 進路に関する講演や見学などを通して自分の進路を見つめる。 課題解決の手法を実践する。	いろいろな学習から自分の考えを統合して系専科を選択する。 卒業後の自分を想像して今後のキャリアプランを行う。 課題解決の手法を活用する。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	系専科概要	・系専科の選択と卒業までの予定計画 ・各系の概要の説明 ・自己理解	a:他者からの質問に自分なりの答を見つけられる b:話しやすい環境を作ることができる c:自分の伝えたいことがまとめられる	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート
	卒業生講演会	・卒業生の体験談を聴く	a:話を聞き自分の進路イメージを持つことができる b:質問をする中で自分の疑問を解消できる c:進路実現への道筋を立てられる	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート
2学期	校外学習	・職場学校見学を通して職業観を育成	a:訪問マナーが理解できる b、c:見学内容を記録することができる	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート
	PBL学習	・メソッドの練習 ・ポスター制作	a:自分の伝えたいことがまとめられる b:得た情報を自分なりに分析、判断し、的確に表現できる c:自分の役割を理解し、主体的に取り組める	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート ・ポスター制作
	系専科詳細	・予定計画の再確認・選系の注意 ・各系の詳細な説明	a:各系の学習内容について理解している b:自身の興味や適性を理解し、系専科の選択ができている c:説明内容で気になることなどを明示できる	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート
3学期	キャリア学習	・3年生の進路体験を聴く ・キャリアパスポートの作成	a:傾聴し理解しようと努めている b:ワークシートから自身を客観視し、そこから次年度の目標設定ができる c:深い学びに向けて具体的なキャリアプランを作成している	・パフォーマンス評価	・パフォーマンス評価	・振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度